

2011年度のタイトルを飾った 兎忍者 彼が語る 青色限定版の真実とは

記者：実は青色限定版は初めから予定されていたものではなかったと聞きましたか。
兎：ええ。元々は違う仕事の為に撮影を依頼されたんです。でもそれが没になってしまって。せっかくカッコいい僕の写真が撮れたのに勿体ないということで、青色限定版として使って頂けることになったんです。

記者：なるほど。それが辰年へと引き継がれてゆくわけですね。

兎：本当は1年限定で終わりにするつもりだったらしいんですけどね。思っていたより評判が良かった上に、卯年が終わってしまうということで、それなら辰年も作ってしまおうと。

記者：長い歴史の始まりを見ているようです。辰年の彼はとても個性的ですね。

兎：でしよう。彼とは古くからの付き合いで、実は彼は虎なんですよ。

記者：えっ、虎ですか？てっきり龍だと思ってました。

兎：龍の方にお願ひしたそうなんですけども龍だと殺し屋みたいになってしまったとことで、そこで誰かいないかと相談を受けたので、それならば彼だろうと。

記者：確かに殺し屋の雰囲気は無いですね。でも虎の彼を選んだ理由は何だったんですか？

兎：普段から緑色だったからですね。黄色くない虎なんて龍みたいなもんじゃないですか。

記者：確かに。

兎：僕より人気があると聞いているので、少し嫉妬しています。虎なのに。

記者：そうなんですか…ちょっと意外です。今回は蛇ということですが、もうご覧になりましたか？

兎：ええ。いいんじゃないですかね。今回はデザイナーさんも違う方が担当されたとのことなので、また違った雰囲気を楽しんで頂けると幸いです。

記者：何だか、兎さんがスタッフの方のように思えてきました。

兎：はは、聞いた話ですよ。それだけ思い入れが強くなってしまったんですかね。また12年…あ、もうあと10年後かな。表紙に帰ってこれたらいいなって。

記者：そうですね。期待しています。ただ兎の寿命は6~12年ぐらいだとお聞きしましたが…

兎：うーん。それじゃ無理かもしれない。



忍び株価平均 一時20銭下落

引用開始4日の忍び株式市場では午後の取引で忍び平均が突然暴落する異常な値引きとなった。

電子巻物による超高速取引システムが読み間違いによる注文を出し、連鎖的に売りが膨らんだとの観測が出ている。

米メディアによると、忍び組合は一時1ドル割れと株価が「無価値」に接近した。

忍者文字学習帖リニューアル 2013年の青色限定版イラスト公開



いままでに無い可愛らしいイラストで、忍者文字顧客開拓を狙う

次期上忍衆院選に向け、伊賀忍者会では伊賀忍者会との連携を重視している。地域観光の活性化を急ぐのは、忍者文字の解読を少しでも優位な形で進めるためと見られる。

ただ、昨今忍者文字は解読未遂が相次ぎ、忍者文字の間違いが頻発しているという。

忍太市長は、秘密の情報を解読するということは、時として個人情報流出に繋がる。忍者の歴史や地域の活性化の為に解読は必要だが、くれぐれも注意して欲しいとして慎重な立場を示している。

忍者文字 解読未遂相次ぐ

逮捕されたのは、伊賀市在住の住所不定自称忍者容疑者。忍者容疑者は、動機について「自分の顔が載っていたらどうしようと思った」などと供述しているという。

マグカップ ヤスリで擦り絵柄消失

8日午前9時20分頃、伊賀市四十九町の印刷会社「上野印刷株式会社」で、男がマグカップをヤスリで擦り絵柄を消失させたとして、現場に駆けつけた警察官に、器物破損などの疑いで逮捕された。

今後の発行について
忍者文字新聞は、忍者文字学習帖の中級編になります。よって今後、発行の予定はございません。ご愛読ありがとうございます。

※ この内容はフィクションです。実在の人物、団体、事件などにはいっさい関係ありません。